

令和6年3月28日14時00分

コンクリート構造物選定マニュアル(試行案)に新たな工種を追加 ～ 建設現場のさらなる生産性向上に向けて ～

i-Constructionにおけるトップランナー施策の一つである「全体最適の導入(コンクリート工の規格の標準化等)」の取組として、プレキャスト製品と現場打ちの標準的な工法選定方法を定めた現行の「コンクリート構造物選定マニュアル(試行案)」に新たな工種(開水路)を追加しました。

近畿地方整備局では、産官学で構成する「近畿地方整備局プレキャスト化推進検討会」において、現行マニュアルのボックスカルバートとL型擁壁について、L型擁壁から擁壁へと適用範囲の拡大を行うとともに、新たな工種として開水路を追加し、「コンクリート構造物選定マニュアル(試行案)(ボックスカルバート・擁壁・開水路編)」として取りまとめを行ったものです。

○添付資料

・コンクリート構造物選定マニュアル(試行案)(ボックスカルバート・擁壁・開水路編)概要

○マニュアルについては、以下のURLに掲載しています。

URL : https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/jigyousya/technical_information/gijutsukanri/pcamanyu_20240322.html



<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局

企画部 工事品質調整官

しょうじ
荘司

ちかお
周夫

(内線3310)

技術管理課 課長補佐

みたに
三谷

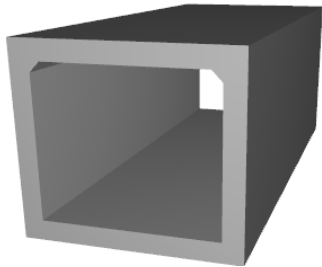
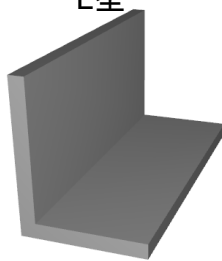
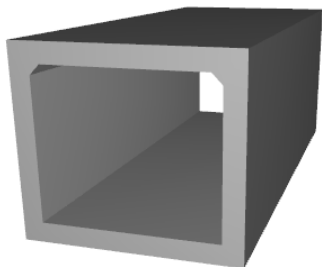
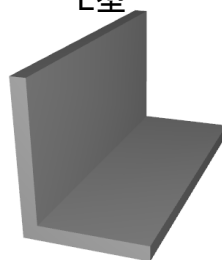
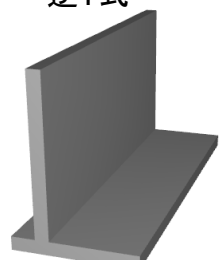
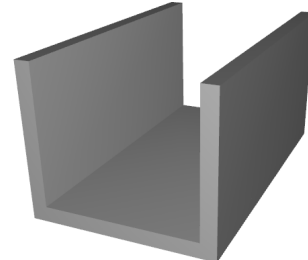
まさと
正人

(内線3158)

電話 06-6942-0207(直通)

改訂のポイント① マニュアルの適用範囲の拡大、適用工種の追加

- ・L型擁壁編から擁壁編へと適用範囲を拡大
- ・開水路を追加

マニュアル	ボックスカルバート	擁壁	開水路
現行版		L型 	—
改訂版		L型  逆T式 	

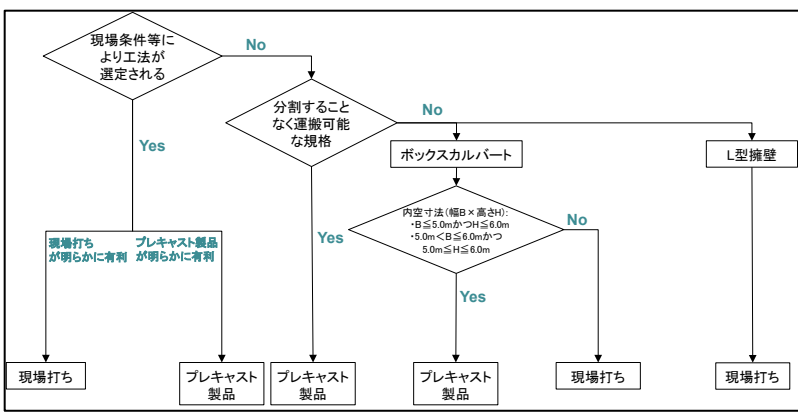
改訂のポイント② マニュアルの活用促進

- ・設計段階からの活用促進(概略・予備設計業務から適用)
- ・コストの全体最適の考え方の記載

マニュアル	設計段階からの活用促進	コストの全体最適
現行版	詳細設計業務に適用	—
改訂版	概略・予備設計業務から適用	事業全体で見たコストの全体最適の考え方を記載

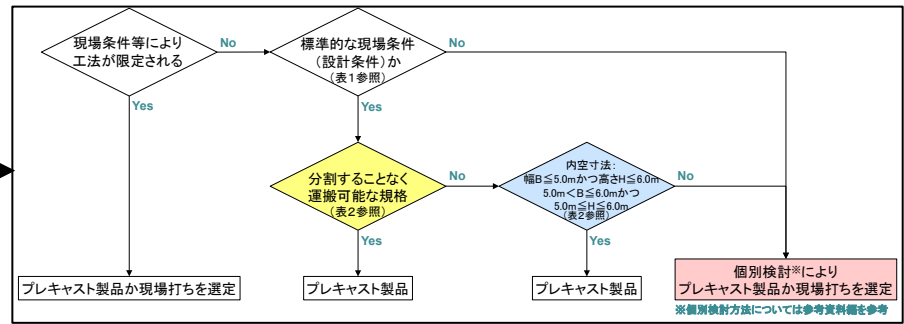
現行マニュアル「ボックスカルバート・L型擁壁編」について、**L型擁壁から擁壁へと適用範囲の拡大**を行うとともに、**新たな工種**として、現場ニーズが高い**開水路**を加え、「ボックスカルバート・擁壁・開水路編」として**適用工種の拡大**を図りました。

現行マニュアル(令和4年3月)



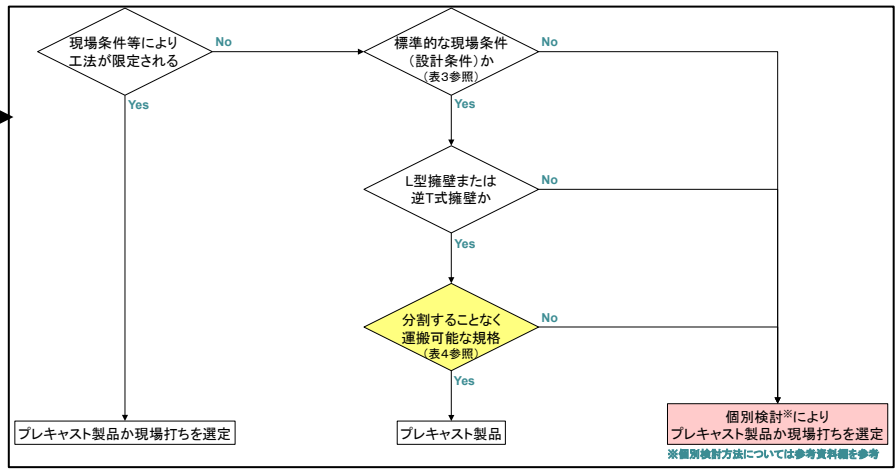
ボックスカルバート・L型擁壁の選定フロー

改訂マニュアル(令和6年3月)



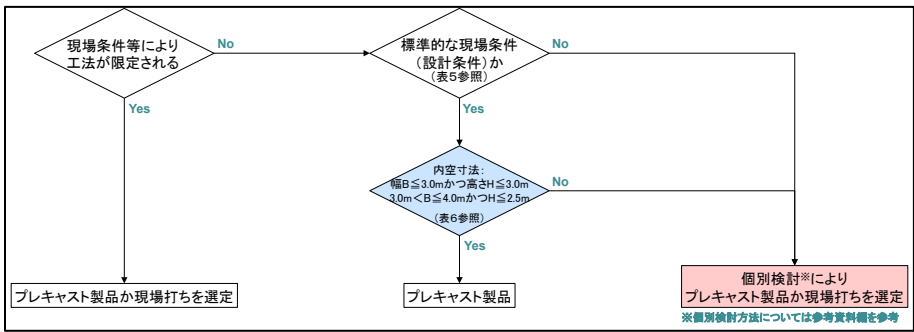
ボックスカルバートの選定フロー

ポイント①適用範囲の拡大



擁壁の選定フロー

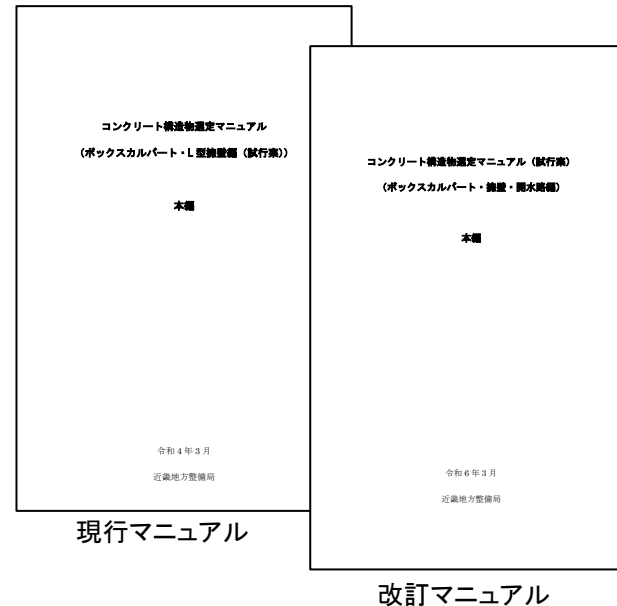
ポイント②新たな工種の追加



開水路の選定フロー

1. 近畿地方整備局プレキャスト化推進検討会 検討体制

学識者	(委員長) 宮川 豊章(京都大学) 井上 晋(大阪工業大学) 鶴田 浩章(関西大学) (※敬称略)
関係団体	(一社)日本建設業連合会関西支部 (一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部
発注機関	近畿地方整備局 (企画部、道路部、河川部、近畿技術事務所、出張所長・監督官連絡会)



2. 目的

コンクリート構造物選定マニュアル(試行案)(ボックスカルバート・擁壁・開水路編)(以下「本マニュアル」という。)は、ボックスカルバート、擁壁および開水路の構造形式の工法選定にあたり、プレキャスト製品または現場打ちの採用における標準的な選定方法を示すことを目的とする。

3. 適用範囲

本マニュアルは、近畿地方整備局が今後実施する設計業務や現場変更の協議において、ボックスカルバート、擁壁および開水路のプレキャスト製品または現場打ちの工法選定における標準的な比較検討に適用する。

4. 基本的な考え方

本マニュアルにおいては、プレキャスト製品の均質な特性などを考慮したライフサイクルコストの検討、プレキャスト製品の活用が推進されることによる将来の調達コスト低減を考慮して、標準的な選定方法を定めている。